

## 3市ごみ減量推進市民会議について

### 日野・国分寺・小金井3市で可燃ごみを共同処理しています

日野・国分寺・小金井3市の可燃ごみは共同で設立した浅川清流環境組合で処理しており、3市で、さらなるごみ減量へ向けた各種施策を共同で行っています。また、3市ごみ減量推進市民会議を組織し、可燃ごみ量のさらなる削減を推進するための環境に配慮した取り組みを協議、検討しています。

### 3市ごみ減量推進市民会議とは

日野・国分寺・小金井3市の市民等が参加して平成30年から活動しており、ごみ減量施策や情報発信等についての検討や意見交換等を行っています。

委員の構成は、学識経験者1人、市民委員12人（各市4人）、行政委員4人（各市1人、組合1人）です。

現在は2つの分科会に分かれて活動し、今期で第3期目を迎えました。



▲3市ごみ減量推進市民会議全体会のようす

## 第3期「3市ごみ減量推進市民会議」からの提案がまとまりました

### 情報発信・環境学習グループ

令和6年度からの可燃ごみ処理施設見学時の施設説明の資料として、小学生向け冊子を作成。作成した冊子を、小学校4年生の総合的な学習「ごみの処理と再利用」の補助教材としても活用していくことを各市各小学校に働きかけること。

また、冊子は4月より配布することとする。



小学生向け冊子

### ごみ減量施策グループ

食品ロス削減に向けた取り組みを検討するため、家庭における食品ロス意識調査（WEBアンケート）を実施。

アンケートを踏まえ食品ロス削減に向けて取り組む内容を提案。

#### ①自治体による啓発

食品ロス削減に向けた情報発信や意識向上への啓発など

#### ②家庭での取り組み

家庭での使い切り、食べきり、エコクッキングの実践など

#### ③小売店での取り組み

売れ残りを出さない仕組みの構築など

#### ④飲食店での取り組み

食べ残さない仕組みの構築の推進など

#### ⑤フードドライブの活用促進

フードドライブで回収した食品の活用方法の周知など



食品ロス意識調査集計結果報告書

いただいた提案は、3市行政が連携して施策に生かしてまいります。



## 燃やすごみの中の

## 紙ごみ

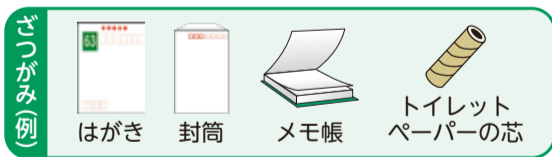
## などの分別徹底をお願いします！

燃やすごみの中には紙ごみなどの資源物がまだまだ混入しており、ざつがみは全体の約40%を占めています。ざつがみは資源です。燃やすごみには混ぜず、分別しましょう。また、ごみの減量ではごみになるものを元から減らす「リデュース（発生抑制）」、何度も再使用する「リユース」、分別を徹底して資源として再生利用する「リサイクル」のこの3Rがとても重要です。

本市では、収集した燃やすごみを、日野市にある3市（日野市・国分寺市・小金井市）共同の浅川清流環境組合可燃ごみ処理施設で焼却処理しています。そのため、施設周辺にお住まいの皆様および関係者の皆様へのご負担を軽減するため、さらなる燃やすごみの減量・資源物分別の徹底に努めていくことが必要です。

### 新聞や雑誌、ざつがみなどの資源となる紙は、分別して「古紙・布の日」に

写真のように、燃やすごみの中にまだまだ多くの資源となる紙類やペットボトルなどが混ざっています。混ぜればごみ、分ければ資源。分別の徹底にご理解・ご協力をお願いします。



古紙・布の日に出してください

紙製カップ麺容器、紙製ヨーグルト容器のように防水加工された紙は、難再生古紙として拠点回収しています。



### ざつがみリサイクル袋をご活用ください

小さなメモ用紙、紙切れ、タバコの箱、はがきや封筒などは燃やすごみに捨ててしまいがちですが、これらも資源となる「ざつがみ」です。ざつがみは、雑誌の間にはさむか、紙袋に入れて出してください。

1cm四方以上の紙であれば資源になります。

市ではこうした燃やすごみ内に混入される紙ごみの減量のため、新聞紙を使用して、市内の障がい者通所施設・作業所で作製した「ざつがみリサイクル袋」を、一部公共施設にて市民の希望者へ無料配布しています。ぜひご活用ください。

■配布場所 ごみ対策課（市役所第二庁舎4階）、公民館各館



ざつがみリサイクル袋は、自宅で簡単に作製できます。作り方は市ホームページに掲載しています。



市ホームページ

ごみ対策課のカウンターにリユース紙袋の箱を用意しています。不要な紙袋があればお持ちください。

